

地方協会だより

公益財団法人 福井県市町振興協会



I これまでの経過概要

当協会は、昭和54年4月1日の設立以来、市町村振興宝くじの収益金を活用し、公共施設の整備や個性豊かで魅力ある地域づくりへの低利融資をはじめ、人材育成、調査研究事業等への助成といった県内市町の振興に資する事業を行ってまいりました。

平成12年4月には、県内自治体の連携・協調を図る市町行政関係団体の拠点となる「福井県自治会館」の建設に助成しました。

また、公益法人制度改革に伴い、平成25年4月1日に公益財団法人に移行し、引き続き各種市町振興事業を行っています。

II 協会の概要

1 関係市町村数（平成29年4月1日現在）

17市町（9市8町）

・貸付実績

貸付年度	貸付団体数	貸付事業数	貸付額（千円）	貸付残高（千円）
平成24年度	7	15	664,700	4,009,878
平成25年度	8	16	602,100	4,207,383
平成26年度	11	27	2,890,800	6,685,923
平成27年度	9	27	2,255,200	8,508,886
平成28年度	11	35	1,175,600	9,191,626

2 体制（平成29年4月1日現在）

評議員 5名

理事 6名（理事長、副理事長、常務理事含む）

監事 2名

事務局 4名（兼務職員4名）

3 基金等の状況（平成28年度末現在）

(1) 基金残高 2,441,223千円

(2) 貸付金残高 9,191,626千円

(3) 借入金残高 4,992,833千円

III 事業の概要

1 貸付事業

緊急に整備を要する公共施設等の起債事業に対しての長期貸付と、緊急的な災害対策事業に対しての短期貸付を行っています。

・平成28年度長期貸付条件

10年償還（うち据置期間2年） 0.01%

12年償還（うち据置期間2年） 0.01%

15年償還（うち据置期間3年） 0.20%

※償還方法は全て半年賦元金均等償還



〔敦賀市 こどもの国プラネタリウム〕



〔坂井市スポーツランド サッカー場施設〕

2 交付事業

平成13年度から発売された新市町村振興宝くじ（オータムジャンボ宝くじ）の収益金を原資とする福井県からの交付金を、全額、県内各市町が行う地方財政法第32条に定める事業の財源として交付しています。

- ・配分基準 均等割25%、人口割75%
- ・平成28年度交付実績 1億2,062万4千円

3 市町振興事業

(1) ふるさと情報発信助成事業

市町が行う観光や文化の情報発信を目的とした事業に対する助成を行うことにより、地域の活性化を図るとともに、宝くじの収益金が財源になっていることを表示してもらうことで、宝くじの広報宣伝も行っています。

平成28年度は13事業に対し、合計260万円の助成を行いました。

・平成28年度ふるさと情報発信助成事業一覧

市町名	事業概要
福井市	名勝「養浩館庭園」の見どころ等について詳しく解説するリーフレットを特に庭園部分に焦点を当てて作成。
越前市	越前市の魅力を紹介するPRパンフレット（名刺サイズ）を作成し、ふるさと大使の広報活動に活用。
小浜市	小浜市の「鯖」のイメージを更に定着させ、まちづくり及び水産業の活性化を図るためサバのぼり旗を作成。
勝山市	福井県立恐竜博物館等への観光客が年々増加する中、市内への誘客促進を図るため、名産品及び取扱店舗を紹介するパンフレットを作成。
鯖江市	クラウドファンディングに対する理解を深め、さらなる飛躍の契機とするため、FAAVOエリアオーナーや関係者等が情報交換や交流を行うキックオフミーティングを開催。
あわら市	曹洞宗の古刹「龍澤寺」の開祖の没後六百年を記念して、寺宝の展示と歴史を紹介。
坂井市	文学の街として全国に発信するため、坂井市に疎開していた抒情詩人 三好達治についてリーフレットやパネル等を作成。
永平寺町	町のイメージキャラクター「えい坊くん」のグッズを作成。
南越前町	南越前町観光PR看板を設置。
越前町	町の工芸文化を広くPRするため、越前町在住の現代工芸作家を紹介する企画展を開催。
美浜町	「へしこの町・美浜町」としての認知度向上、イメージアップ及び観光誘客を図るため、へしこちゃんホログラムシールを作成。
高浜町	12回続いてきたひなまつりを今後も続けていくため、長期的な展望を視野に入れ各種イベントを実施。
若狭町	全国より多くの方が集まる「若狭・三方五湖ツーデーマーチ」にて若狭町の魅力をPR。



〔南越前町観光看板〕

右下に「この看板は市町村振興宝くじの収益金で作成されました」と表記



〔永平寺町えい坊くんグッズ〕

- (2) 福井県自治会館組合に対して助成。
- (3) 一般財団法人地域活性化センター会費の全市町分を負担。

4 災害見舞金交付事業

災害救助法の適用を受けた市町に対し、見舞金を交付します。

5 研修・研究事業

- (1) 市長（副市長）等幹部職員研修、町長研修、市町議会議員合同研修会等に対し、助成を行っています。
- (2) 「地域づくり」、「メンタルヘルス」等をテーマとして、市町職員研修を行っています。
- (3) 市町の行財政担当職員で構成され、研究、情報交換を行う行財政問題研究会に助成を行っています。



〔副市長等幹部職員研修〕

6 宝くじ広報宣伝事業

宝くじの用途等についてのパネル展示やゲーム等による宝くじ広報・啓発イベントを県内各地のショッピングセンターで行ったり、テレビ・ラジオ等各種メディアでのCM等を行っています。

・平成28年度広報宣伝実績

- (1) 宝くじに関する三択クイズ、用途状況等のパネル展示及びアンケートといった宝くじPRイベントをショッピングセンター等で実施
- (2) テレビ、ラジオスポットCMによるPR
- (3) 市町行政広報紙に広告を掲載

- (4) 福井新聞朝刊に通信販売パンフレットの折込広告
- (5) 福井テレビ・福井放送テレビPRコーナー出演によるPR
- (6) 福井新聞に広告を掲載
- (7) 無料宅配情報紙に広告を掲載
- (8) 福井鉄道電車内にポスター掲示
- (9) JR福井駅近くハピテラス大型ビジョンCMによるPR
- (10) 県内道の駅にポスター掲示



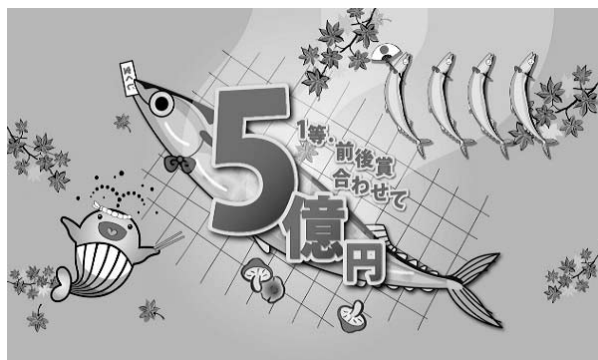
〔PRイベント（平成28年度）〕



〔PRイベント（平成27年度）〕



〔サマージャンボテレビCM（平成28年度）〕



〔オータムジャンボテレビCM（平成28年度）〕

IV 今後の運営について

昨今、宝くじの売上げが低迷していることに加え、金利の低下により、運用利息収入や貸付金利息収入の大幅な減少が見込まれます。財政

規模の小さい当協会としては厳しい状況が続くと想定されます。

一方で、地方創生が進められていく中で、市町の果たす役割はますます大きくなることから、当協会としても効率的な運用に努め、市町の振興支援の役割を果たせるよう努めてまいります。